

# 全国中小企業動向調査結果

(2019年4-6月期実績、7-9月期以降見通し)

## 小企業の景況

(原則従業員20人未満)

小企業の景況は、持ち直しの動きに足踏みがみられる

(前回)持ち直しの動きに足踏みがみられる

- 業況判断DIは、前期からほぼ横ばいの▲26.0となった。  
来期はマイナス幅が拡大する見通し。 ← 5ページ
- 売上DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲20.6となった。  
来期もマイナス幅が拡大する見通し。 ← 10ページ
- 採算DIは、前期からマイナス幅が縮小し、▲11.2となった。  
来期はマイナス幅が拡大する見通し。 ← 11ページ

■ 主要DI(カッコ内は前回調査からの変動幅)

業況判断DI	売上DI	採算DI	資金繰りDI	借入DI
▲26.0(-0.2)	▲20.6(-1.2)	▲11.2(+1.9)	▲18.2(+4.4)	▲7.1(+1.2)

## 中小企業の景況

(原則従業員20人以上)

中小企業の景況は、弱い動きがみられるものの、  
緩やかに回復している

(前回)弱い動きがみられるものの、緩やかに回復している

- 業況判断DIは、前期から低下し、▲0.9となった。  
来期はマイナス幅が縮小、来々期は拡大する見通し。 ← 17ページ
- 売上DIは、前期から低下し、5.8となった。  
来期は上昇、来々期は低下する見通し。 ← 20ページ
- 純益率DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲4.9となった。  
来期はマイナス幅が縮小、来々期は拡大する見通し。 ← 21ページ

業況判断DI	売上DI	純益率DI	資金繰りDI	長期借入難易DI
▲0.9(-4.0)	5.8(-4.1)	▲4.9(-2.2)	4.5(-0.5)	11.8(-0.8)

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:葛貫(つづらぬき)、中谷)  
中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1703(担当:分須(わけす)、藤井)  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティノースタワー

## 目次

調査結果の概要	1
---------	---

### 【小企業編】

概況	3
調査の実施要領	4
業況判断	5
売上	10
採算	11
資金繰り、借入	12
経営上の問題点	13
設備投資、価格動向	14

### 【中小企業編】

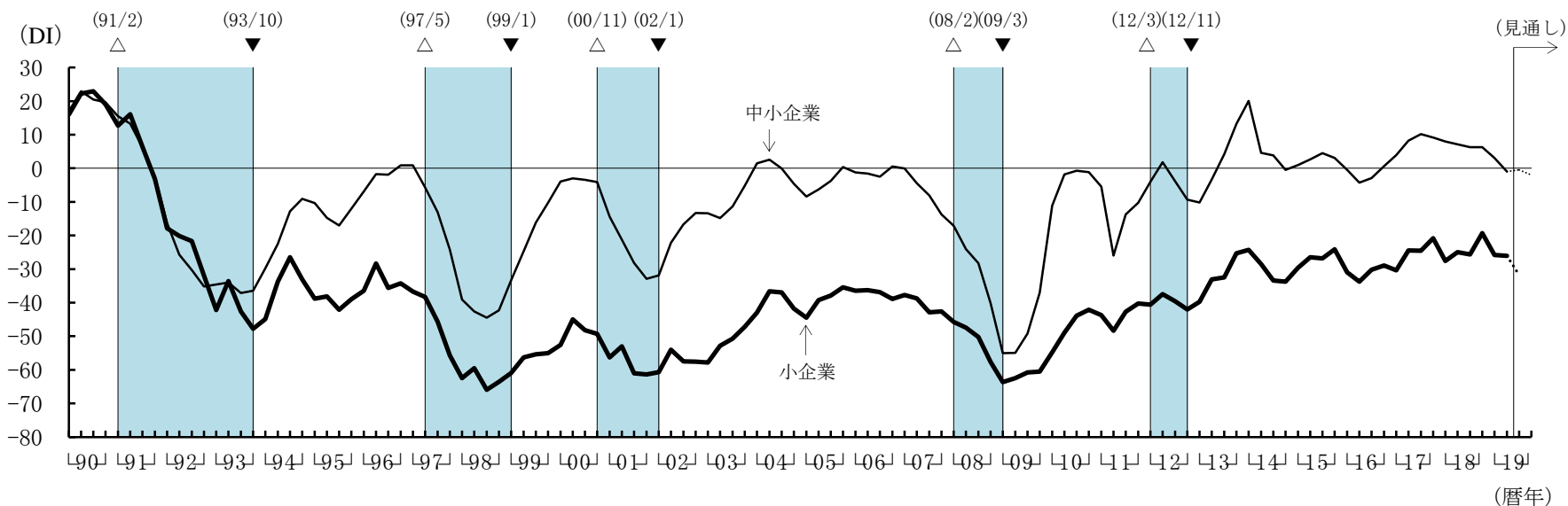
概況	15
調査の実施要領	16
業況判断	17
売上	20
利益	21
価格、金融関連	22
雇用、設備	23
経営上の問題点	24

# 調査結果の概要

## 1 業況判断DIの推移

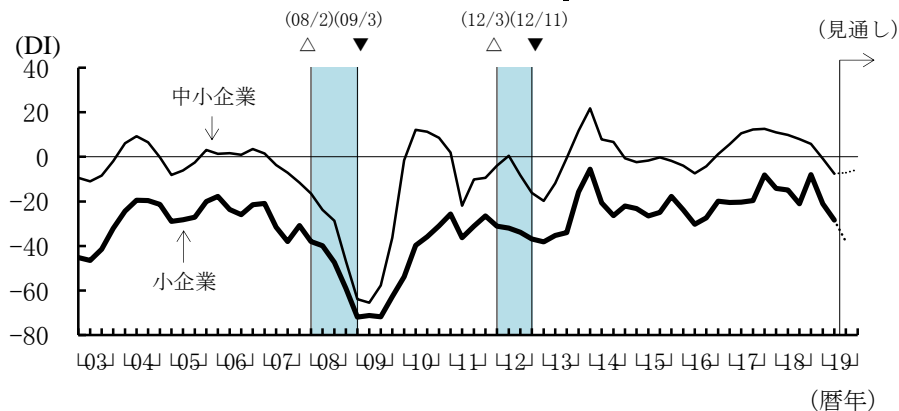
### ①全業種計

	17.4-6	17.7-9	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9 見通し	19.10-12 見通し
中小企業	8.2	10.2	9.1	8.0	7.1	6.3	6.3	3.1	▲ 0.9	▲ 0.5	▲ 2.0
小企業	▲ 24.4	▲ 24.5	▲ 20.8	▲ 27.6	▲ 24.9	▲ 25.6	▲ 19.3	▲ 25.8	▲ 26.0	▲ 31.8	-



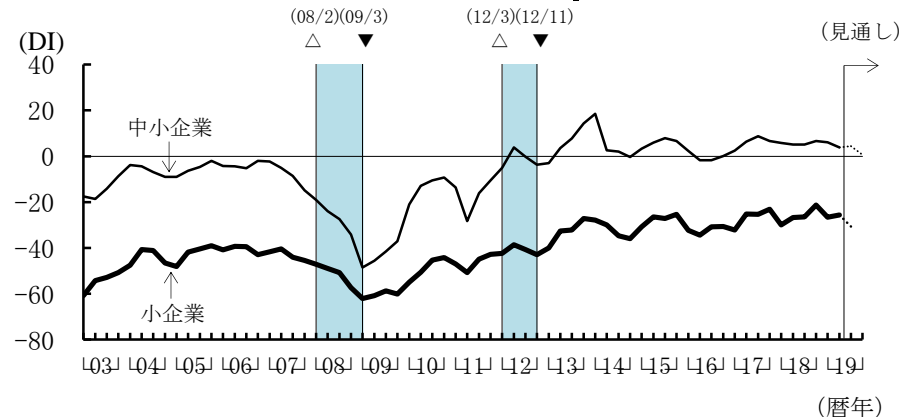
### ②製造業

	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9 見通し	19.10-12 見通し
中小企業	5.8	▲ 0.8	▲ 7.6	▲ 7.1	▲ 5.7
小企業	▲ 8.0	▲ 21.0	▲ 28.4	▲ 38.0	-



### ③非製造業

	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9 見通し	19.10-12 見通し
中小企業	6.6	6.0	3.8	4.4	0.6
小企業	▲ 21.4	▲ 26.6	▲ 25.6	▲ 30.7	-

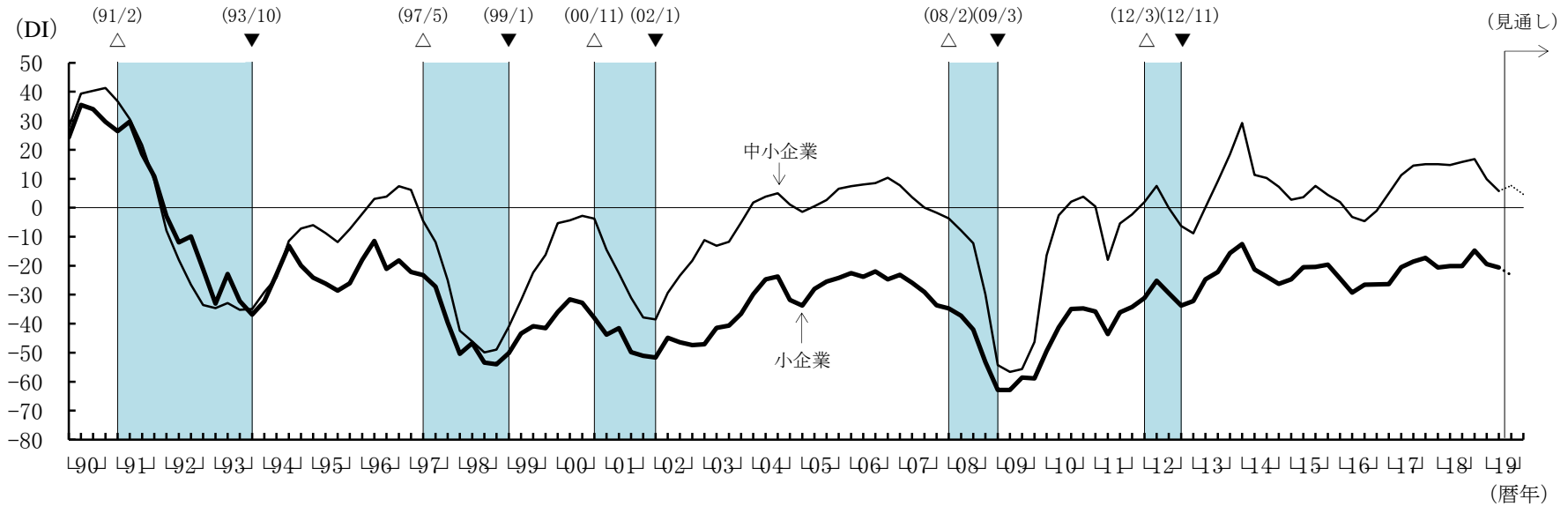


- (注) 1 小企業のDIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 中小企業のDIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値(季節調整済)。  
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す(以下同じ)。

## 2 売上DIの推移

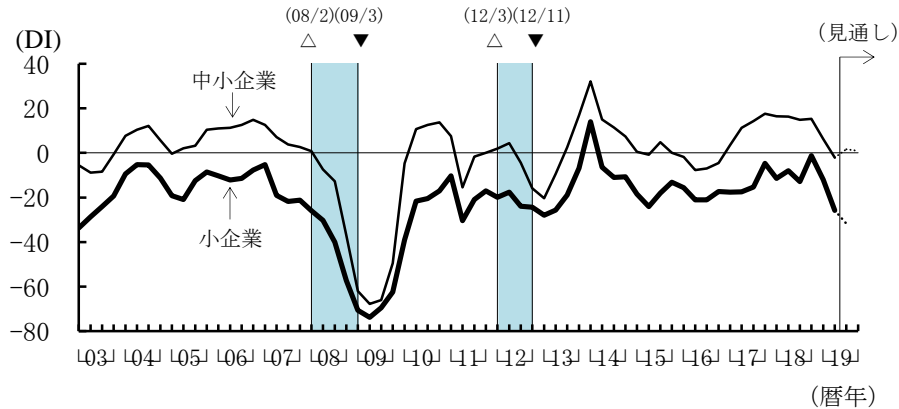
### ①全業種計

	17.4-6	17.7-9	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9 見通し	19.10-12 見通し
中小企業	11.2	14.6	15.1	15.0	14.7	15.8	16.7	9.9	5.8	7.6	4.6
小企業	▲ 20.5	▲ 18.5	▲ 17.3	▲ 20.6	▲ 20.1	▲ 20.1	▲ 14.8	▲ 19.4	▲ 20.6	▲ 23.2	-



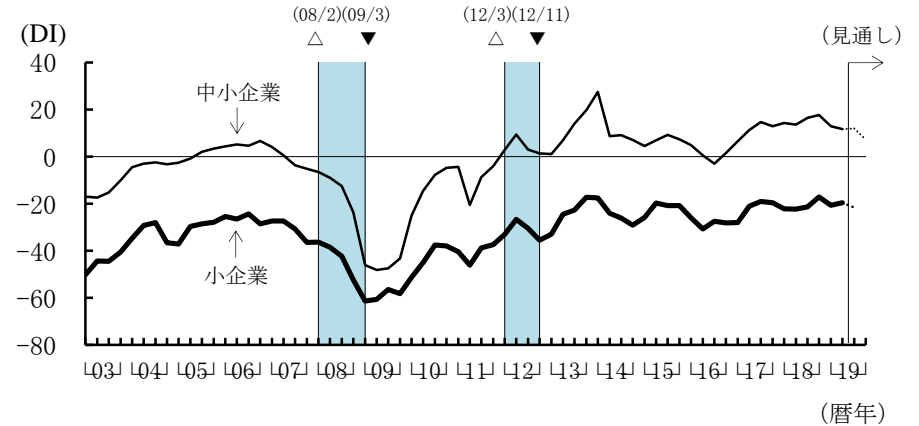
### ②製造業

	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9 見通し	19.10-12 見通し
中小企業	15.2	6.2	▲ 2.1	1.6	0.9
小企業	▲ 1.2	▲ 12.0	▲ 25.8	▲ 31.7	-



### ③非製造業

	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9 見通し	19.10-12 見通し
中小企業	17.6	12.9	11.7	11.9	7.2
小企業	▲ 17.2	▲ 20.7	▲ 19.7	▲ 21.7	-



- (注) 1 小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 中小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値 (季節調整済)。

# 小 企 業 編

(2019年4－6月期実績、7－9月期見通し)

小企業の景況は、持ち直しの動きに足踏みがみられる

[調査の実施要領]

調査時点 2019年6月中旬  
 調査対象 当公庫取引先 10,000 企業  
 有効回答数 6,392 企業 [回答率 63.9 %]

<業種構成>

		調査対象	有効回答数	
製造業	(従業者20人未満)	1,500 企業	984 企業	(構成比 15.4 %)
卸売業	(同 10人未満)	800 企業	585 企業	(同 9.2 %)
小売業	(同 10人未満)	2,450 企業	1,485 企業	(同 23.2 %)
飲食店・宿泊業	(同 10人未満)	1,800 企業	986 企業	(同 15.4 %)
サービス業	(同 20人未満)	2,000 企業	1,331 企業	(同 20.8 %)
情報通信業	(同 20人未満)	160 企業	93 企業	(同 1.5 %)
建設業	(同 20人未満)	1,100 企業	783 企業	(同 12.2 %)
運輸業	(同 20人未満)	190 企業	145 企業	(同 2.3 %)

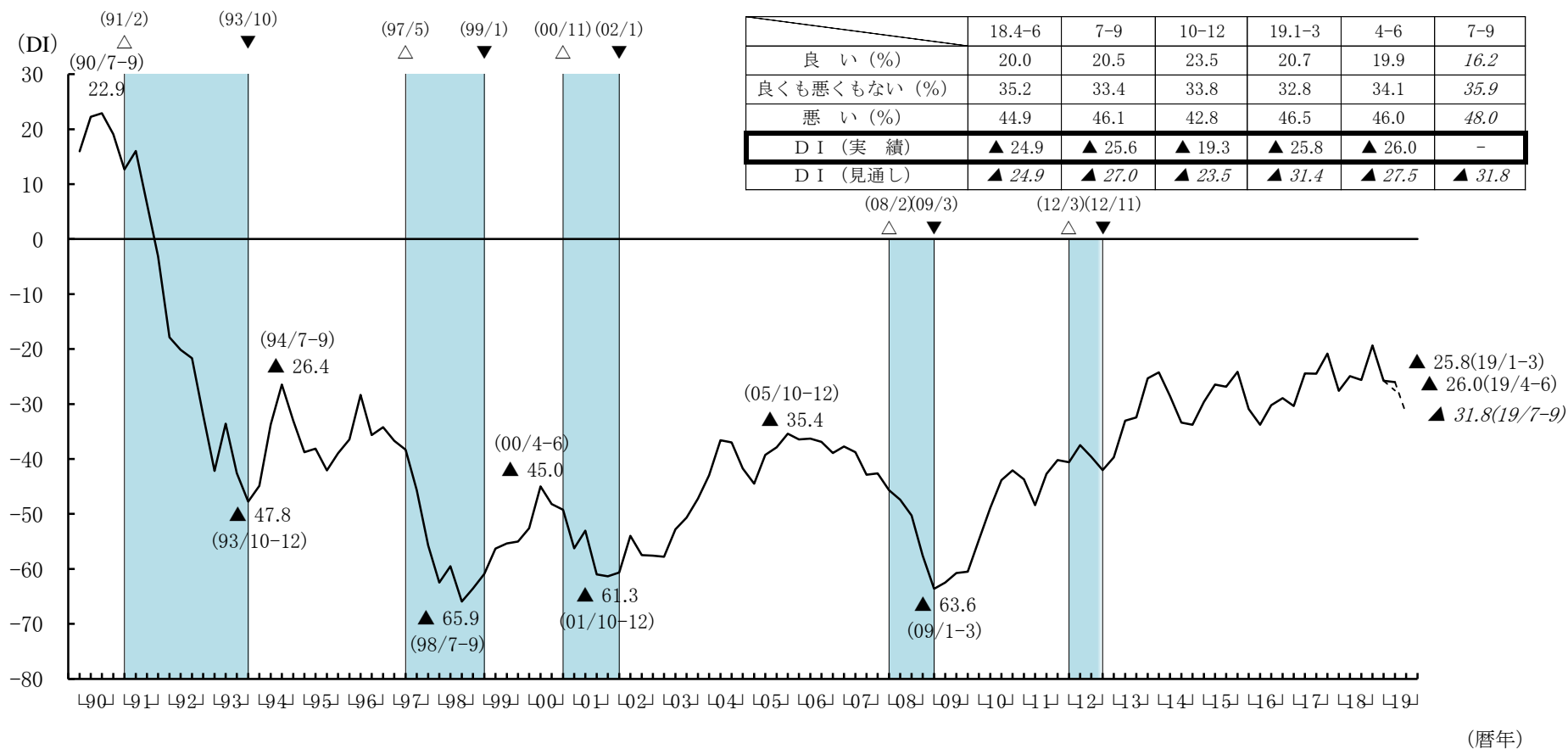
(参考)

法人	4,222 企業	(構成比 66.1 %)
個人	2,170 企業	(同 33.9 %)

# 1 業況判断

- 今期の業況判断DI（全業種計）は、前期（2019年1-3月期）からほぼ横ばいの▲26.0となった。
- 来期は、マイナス幅が拡大し、▲31.8となる見通しである。

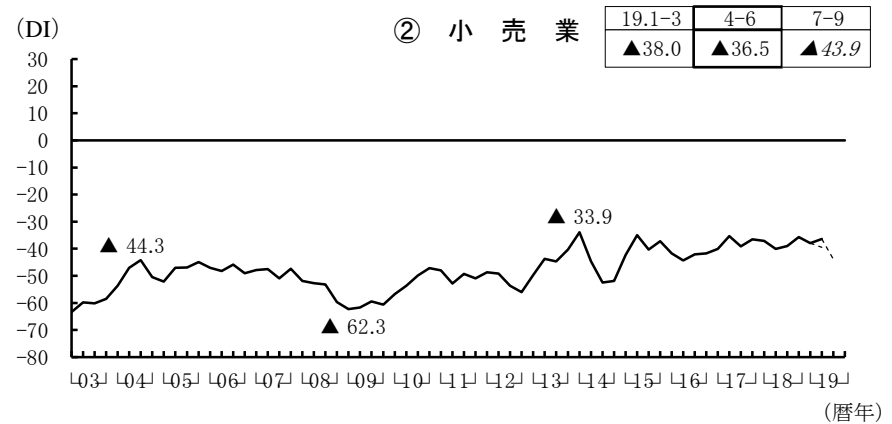
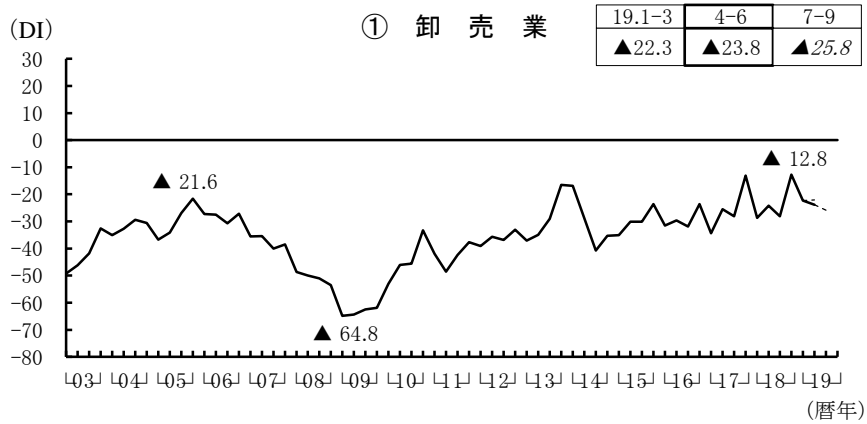
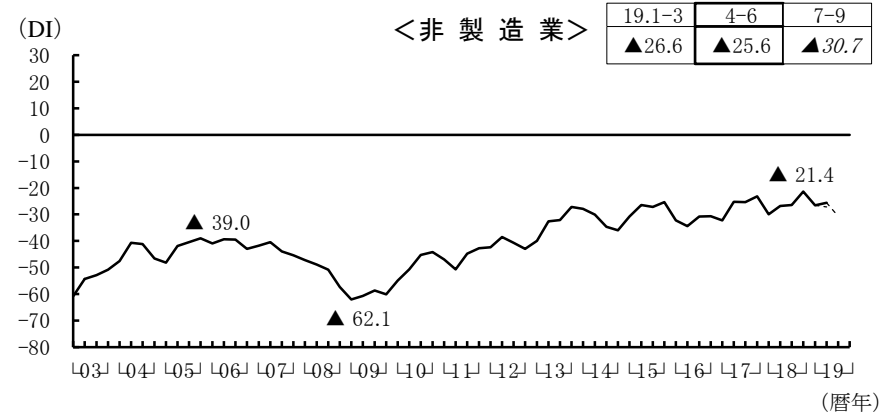
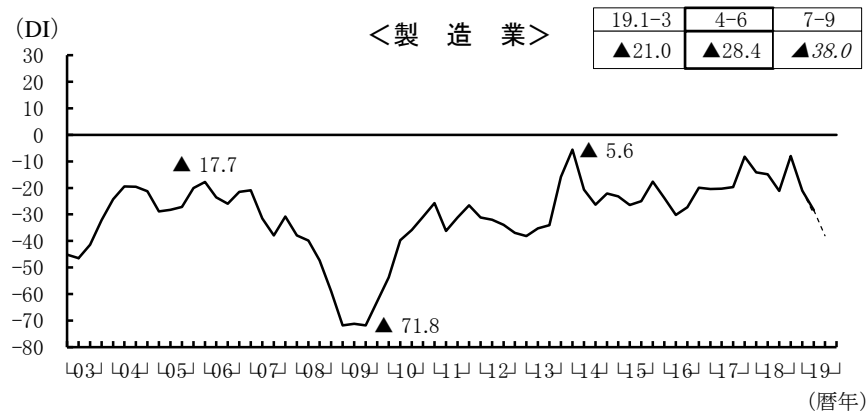
図-1 業況判断DIの推移（全業種計）



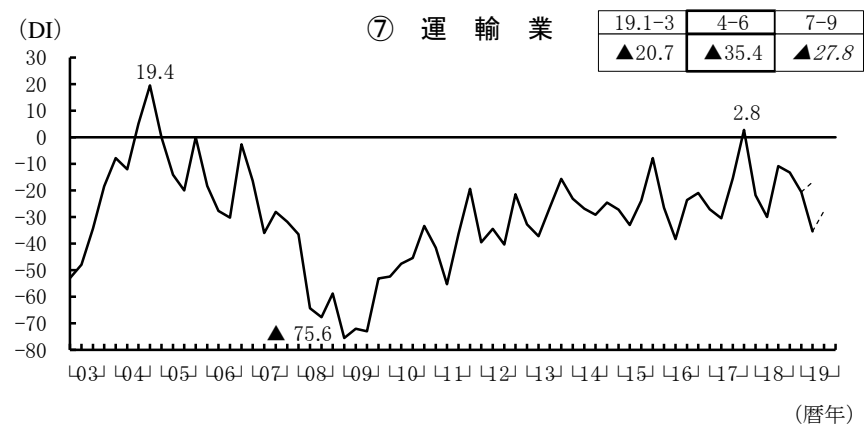
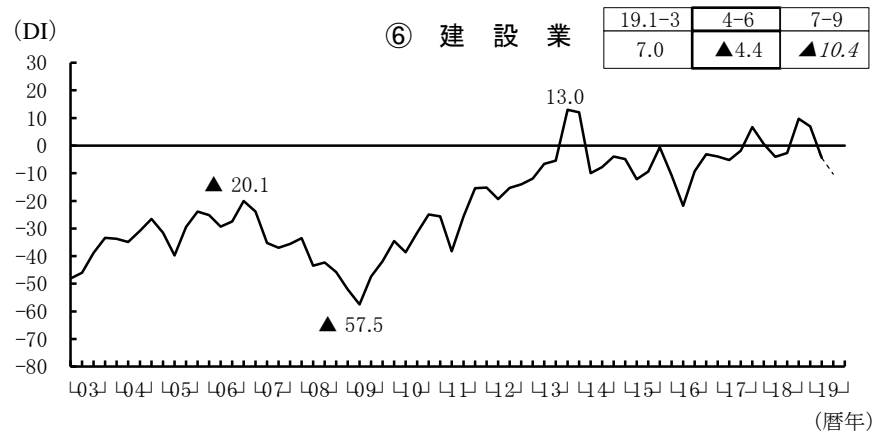
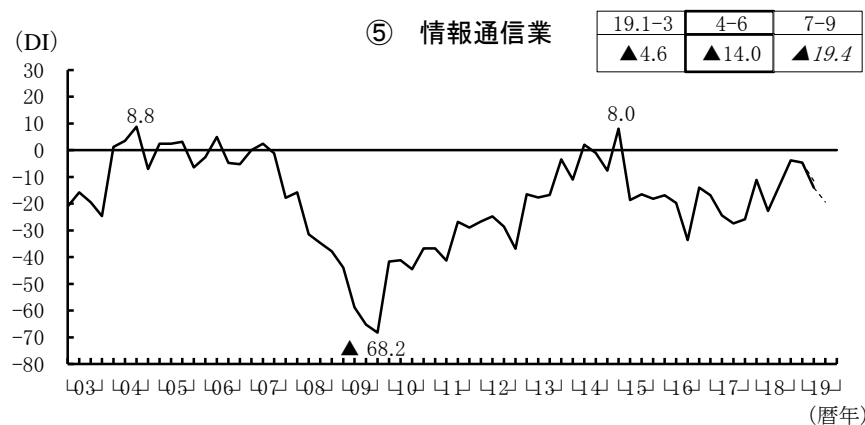
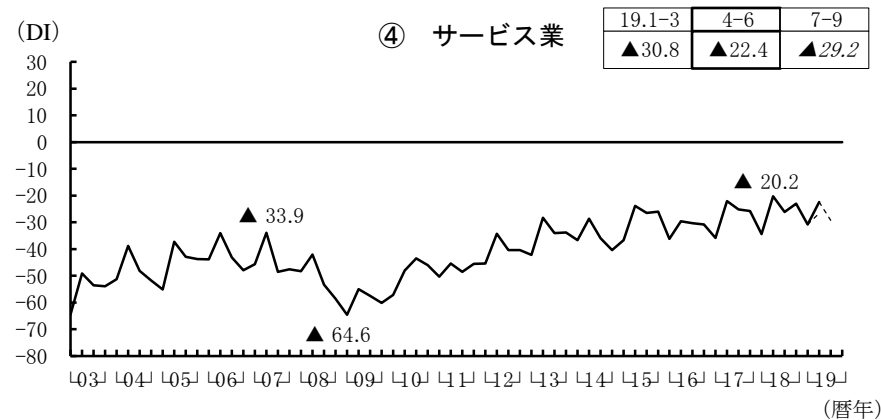
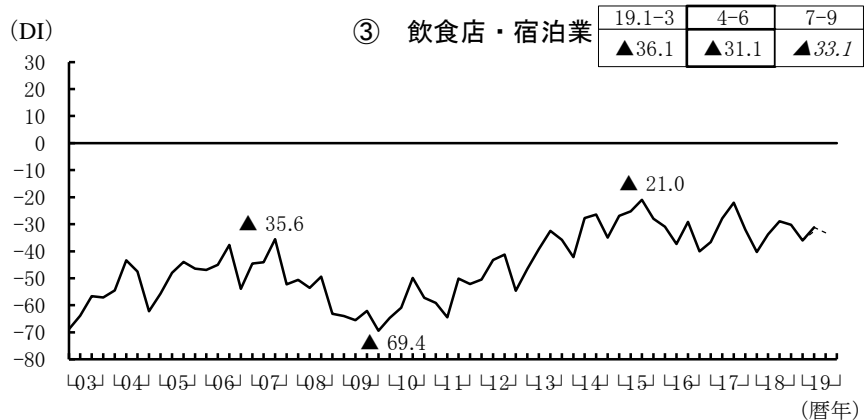
(注) 1 DIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

- 業況判断DIを業種別にみると、製造業（▲28.4）ではマイナス幅が拡大、非製造業（▲25.6）ではマイナス幅が縮小した。非製造業を構成する大分類業種のうち、小売業、飲食店・宿泊業、サービス業でマイナス幅が縮小した。
- 来期は、製造業、非製造業ともにマイナス幅が拡大する見通しである。

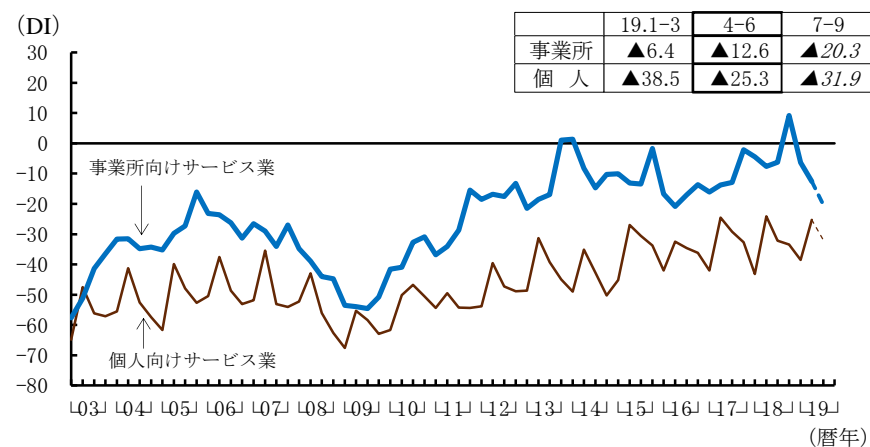
図－２ 業種別業況判断DIの推移





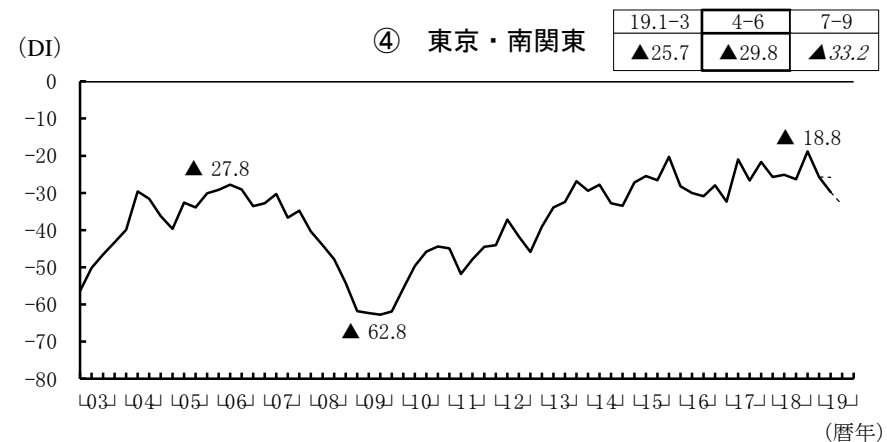
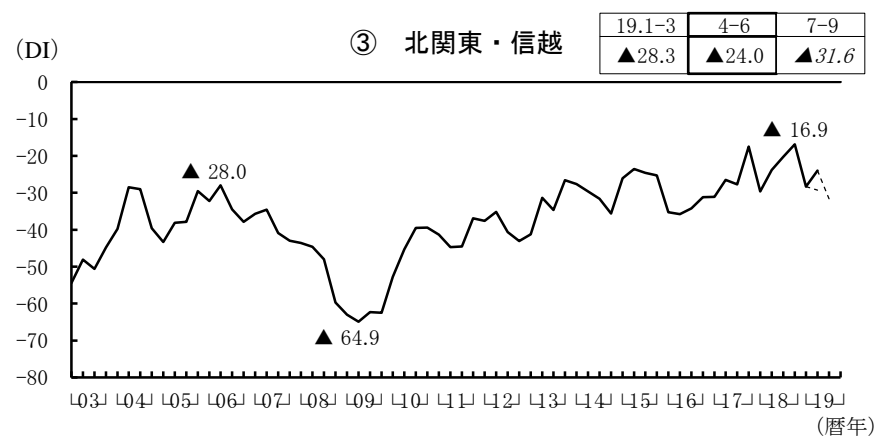
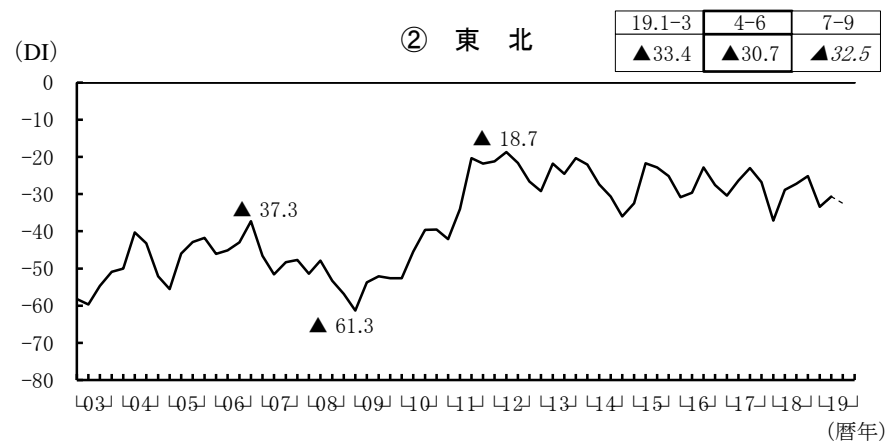
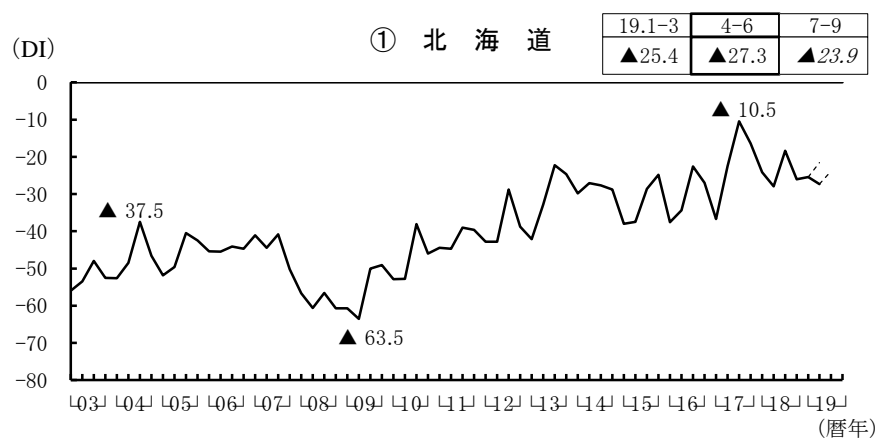


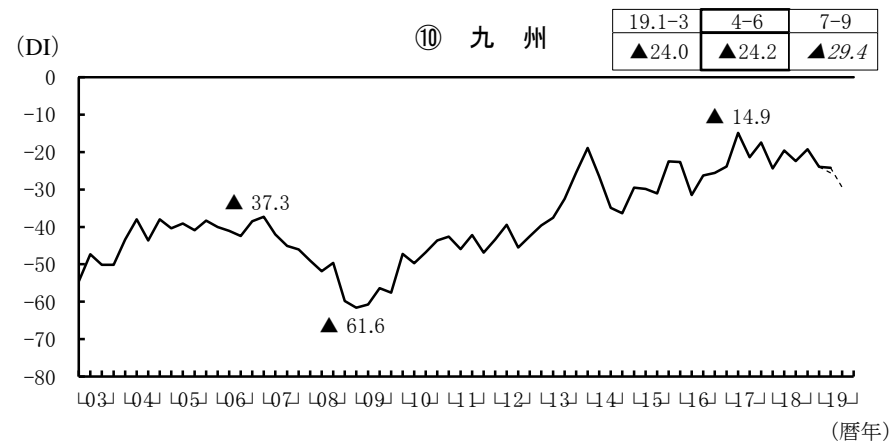
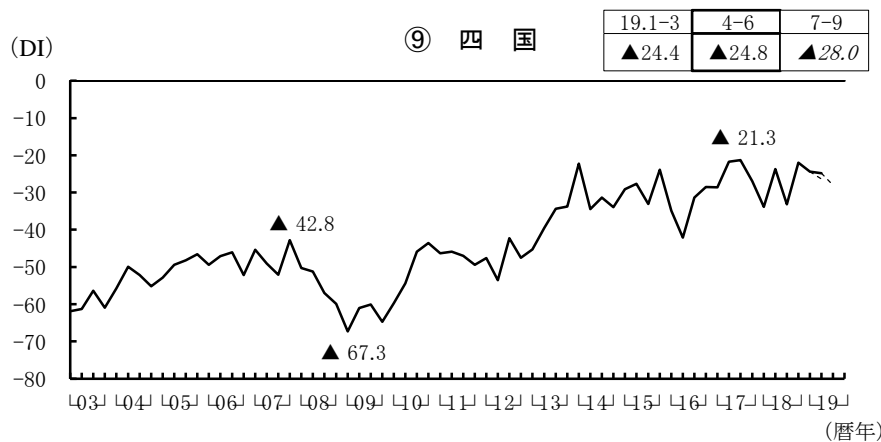
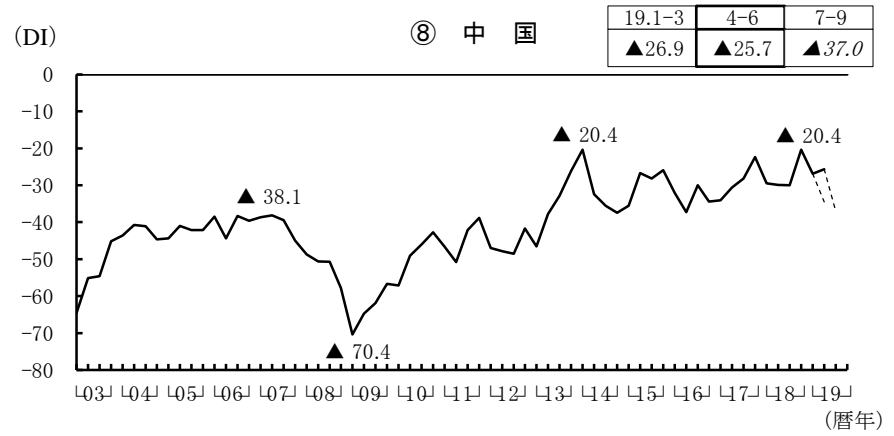
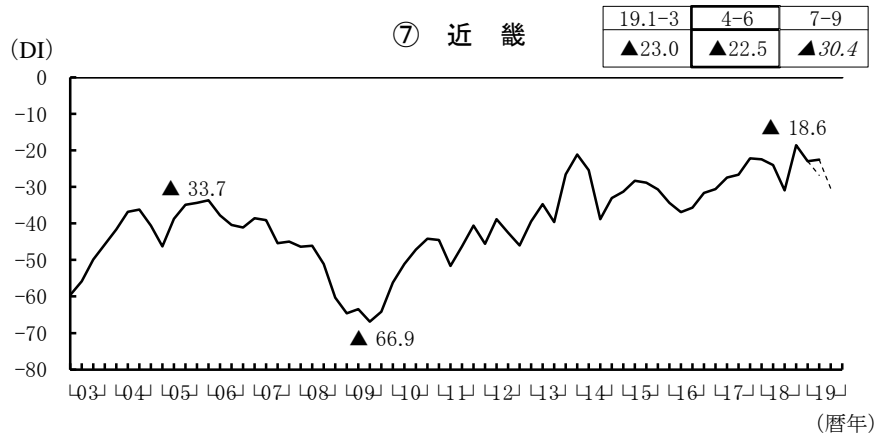
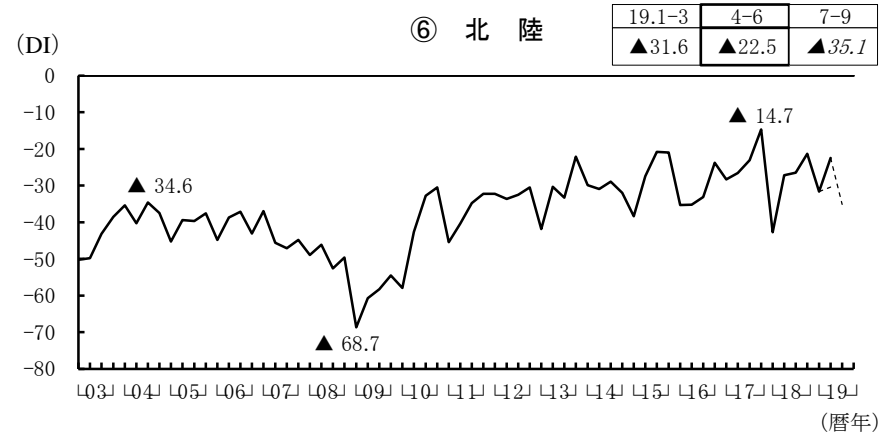
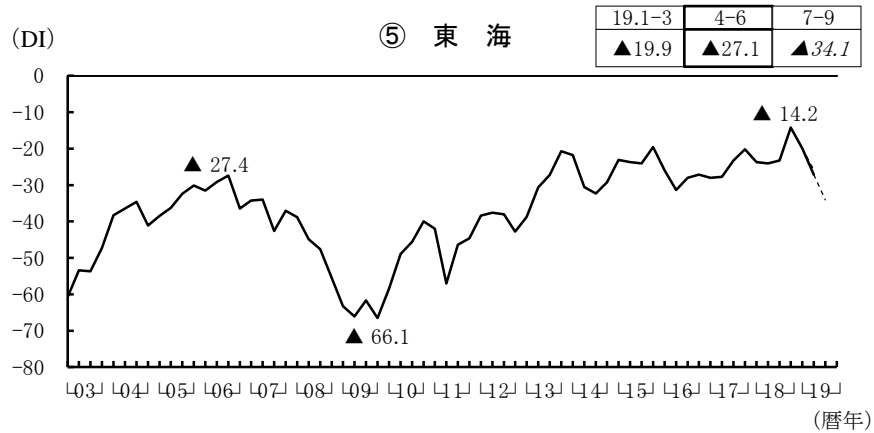
(参考) 個人向けサービス業と事業所向けサービス業の業況判断DIの推移



- 業況判断DIを地域別にみると、北海道、東京・南関東、東海、四国、九州でマイナス幅が拡大した。
- 来期は、北海道を除く全ての地域でマイナス幅が拡大する見通しである。

図－３ 地域別業況判断DIの推移

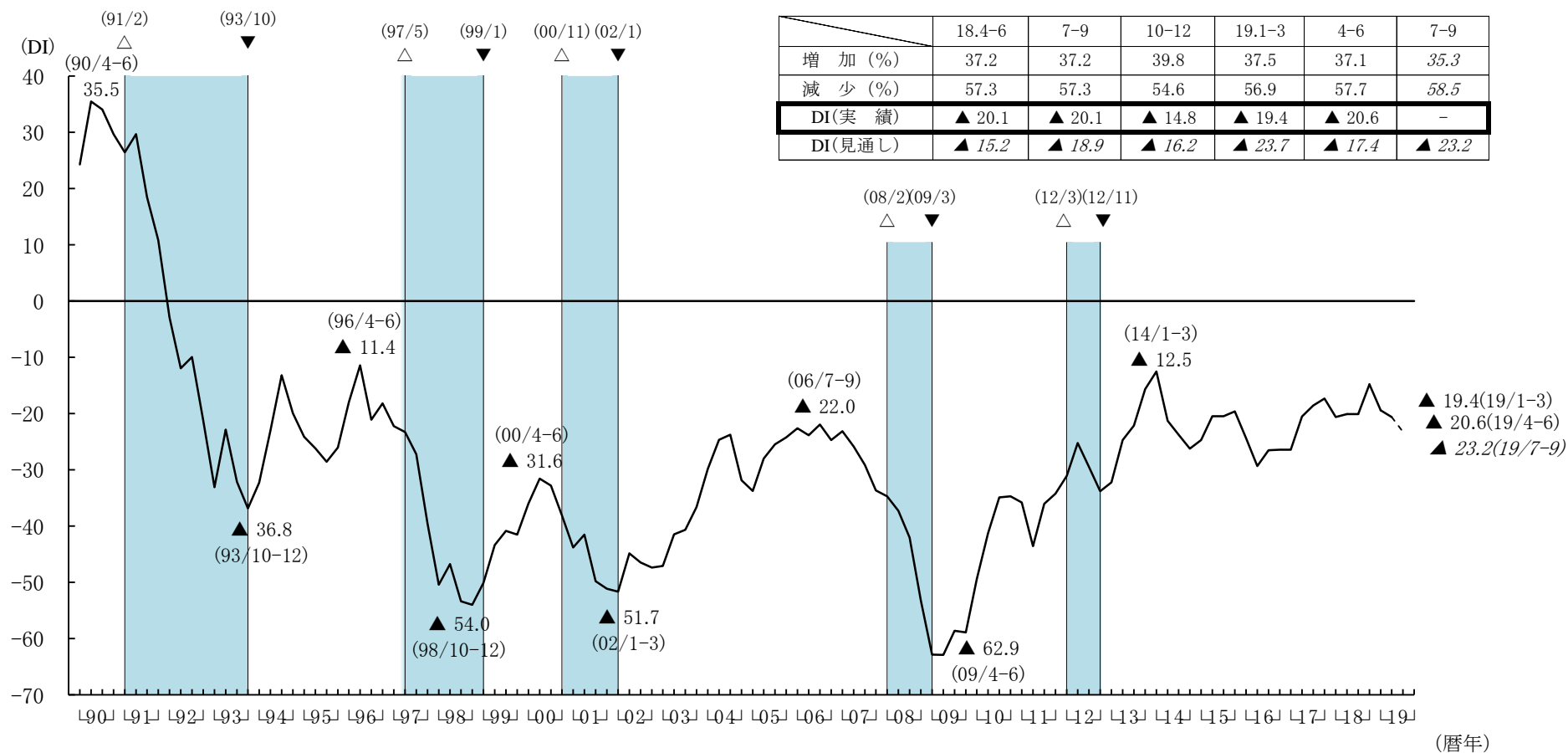




## 2 売上

- 今期の売上DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が1.2ポイント拡大し、▲20.6となった。
- 来期も、マイナス幅が拡大する見通しである。

図－4 売上DIの推移（全業種計）



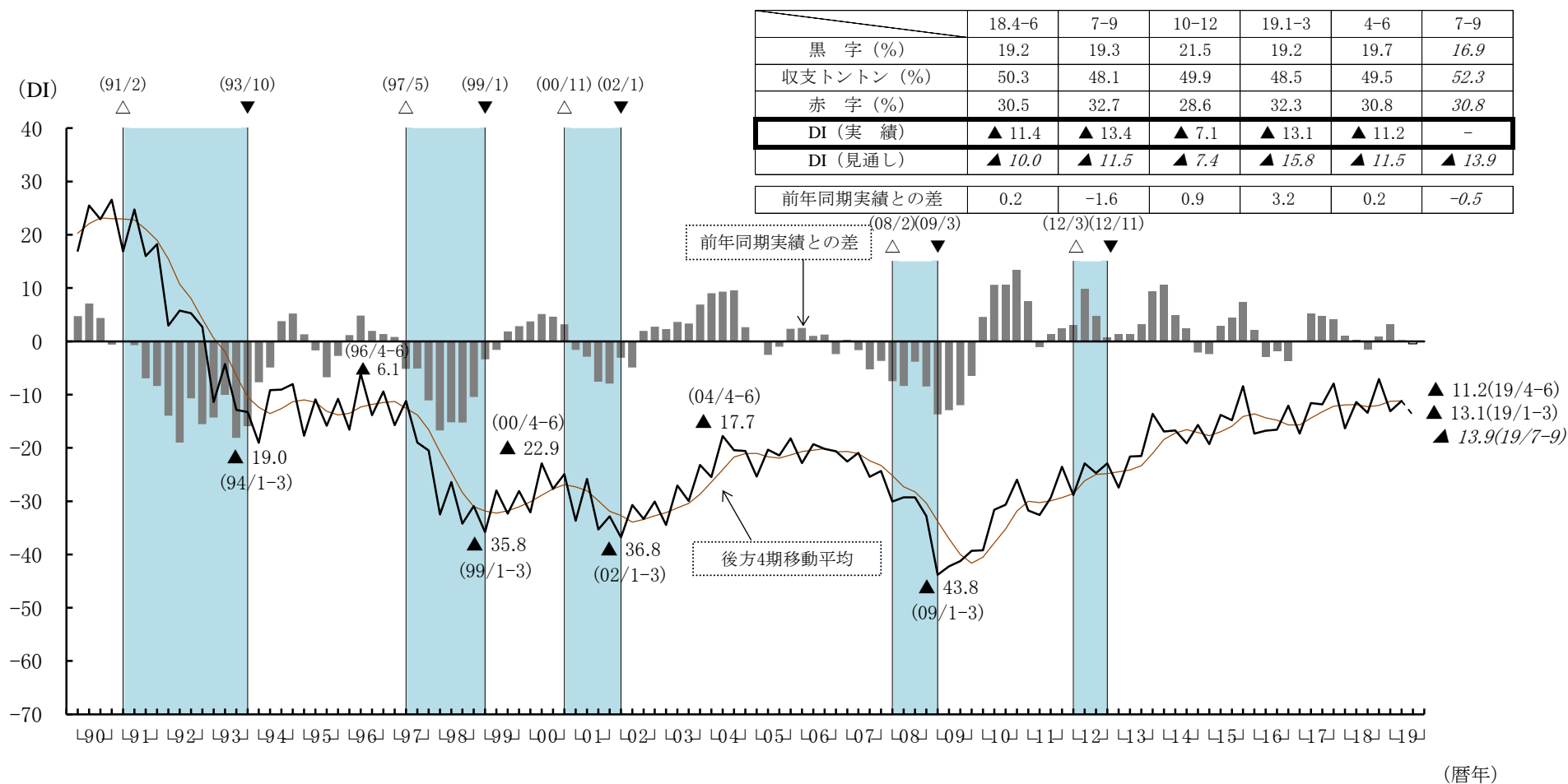
(注) 1 DIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。

2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

### 3 採算

- 今期の採算DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が1.9ポイント縮小し、▲11.2となった。
- 来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。

図－5 採算DIの推移（全業種計）

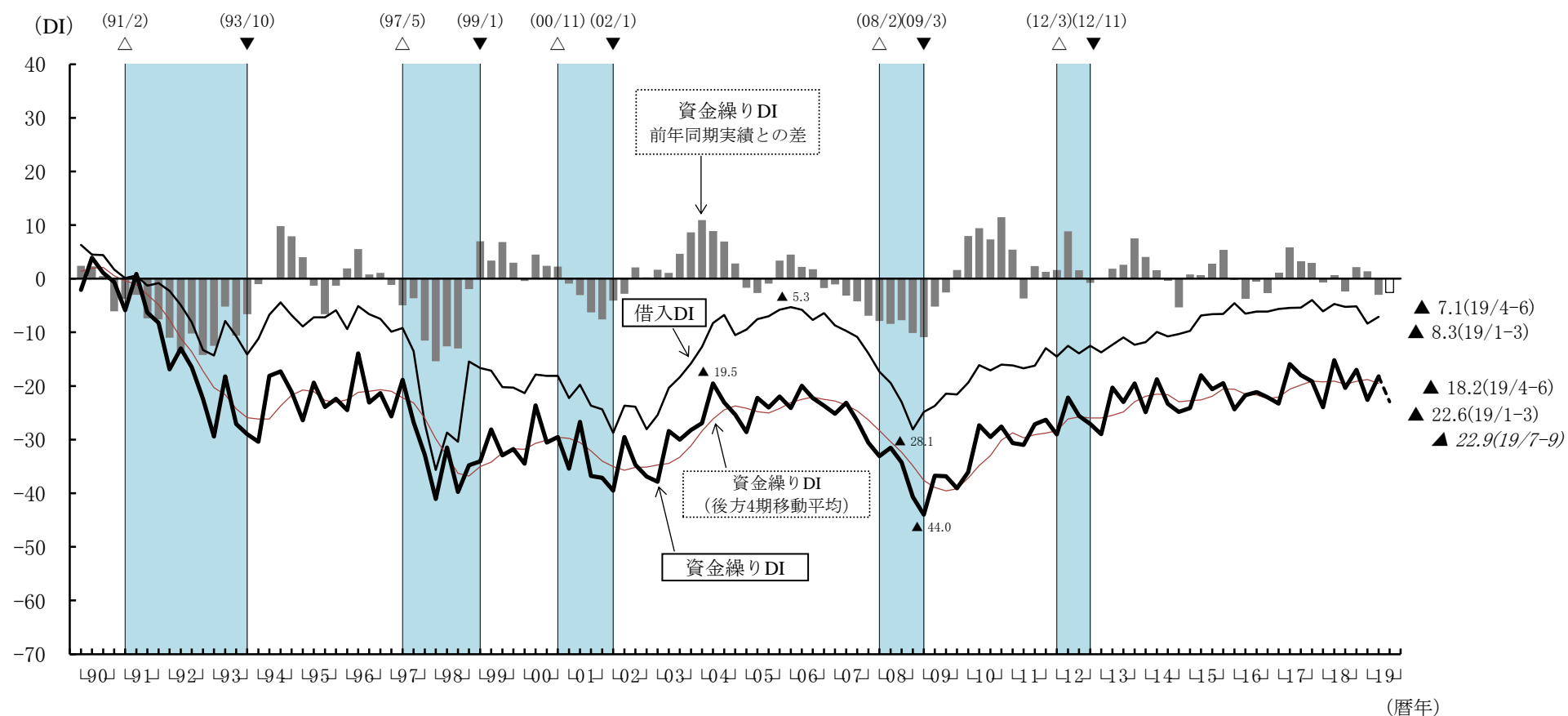


- (注) 1 DIは、「黒字」と回答した企業割合から「赤字」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。  
 3 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

## 4 資金繰り、借入

- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、前期からマイナス幅が4.4ポイント縮小し、▲18.2となった。来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、前期からマイナス幅が1.2ポイント縮小し、▲7.1となった。

図－6 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）

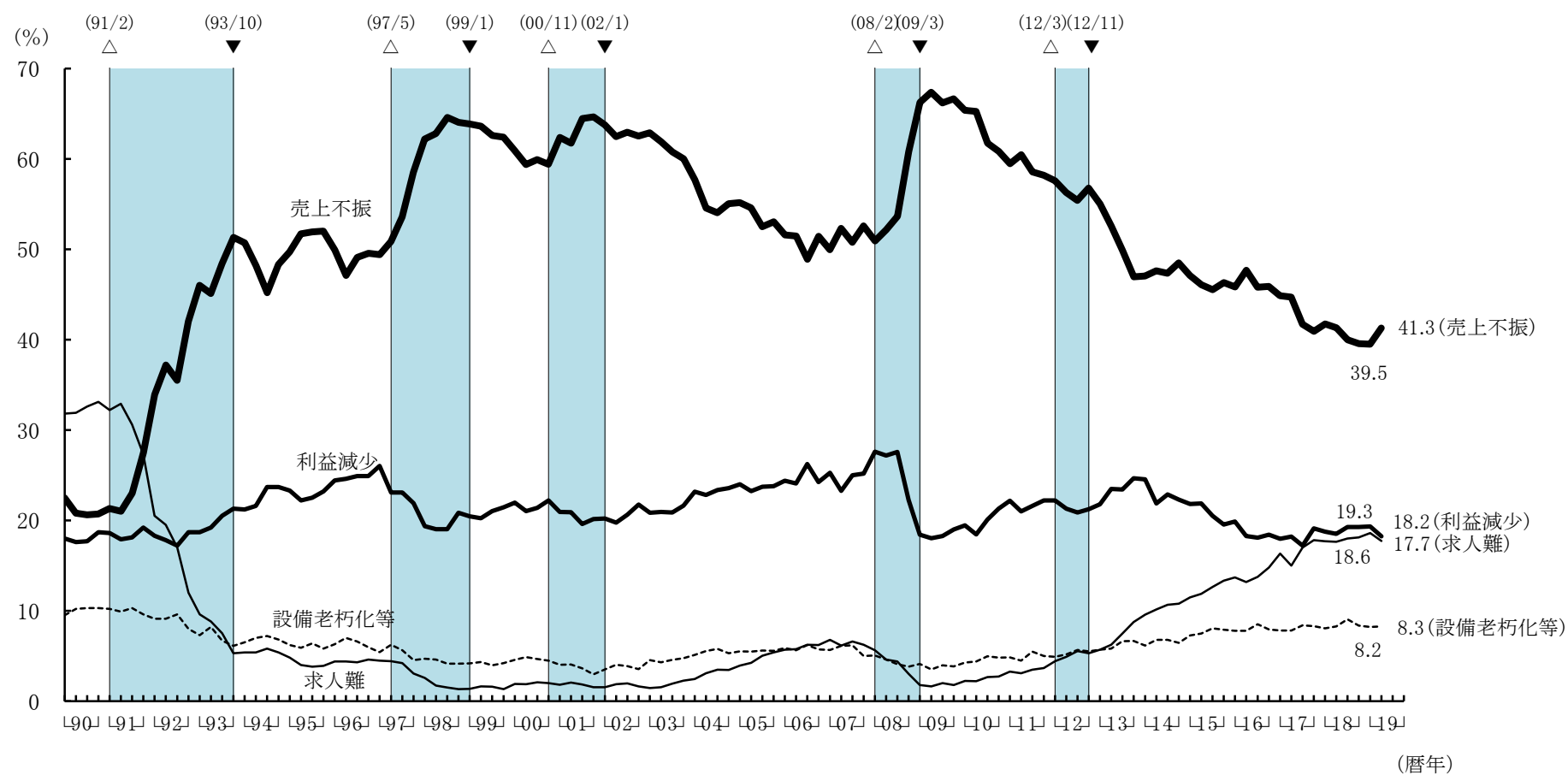


- (注) 1 資金繰りDIは、前期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 借入DIは、前期比で「容易になった」と回答した企業割合から「難しくなった」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 3 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。  
 4 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

## 5 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点（全業種計）をみると、「売上不振」が41.3%と依然として最も多く、次いで、「利益減少」（18.2%）、「求人難」（17.7%）の順となっている。

図－7 経営上の問題点の推移（全業種計、上位4項目）

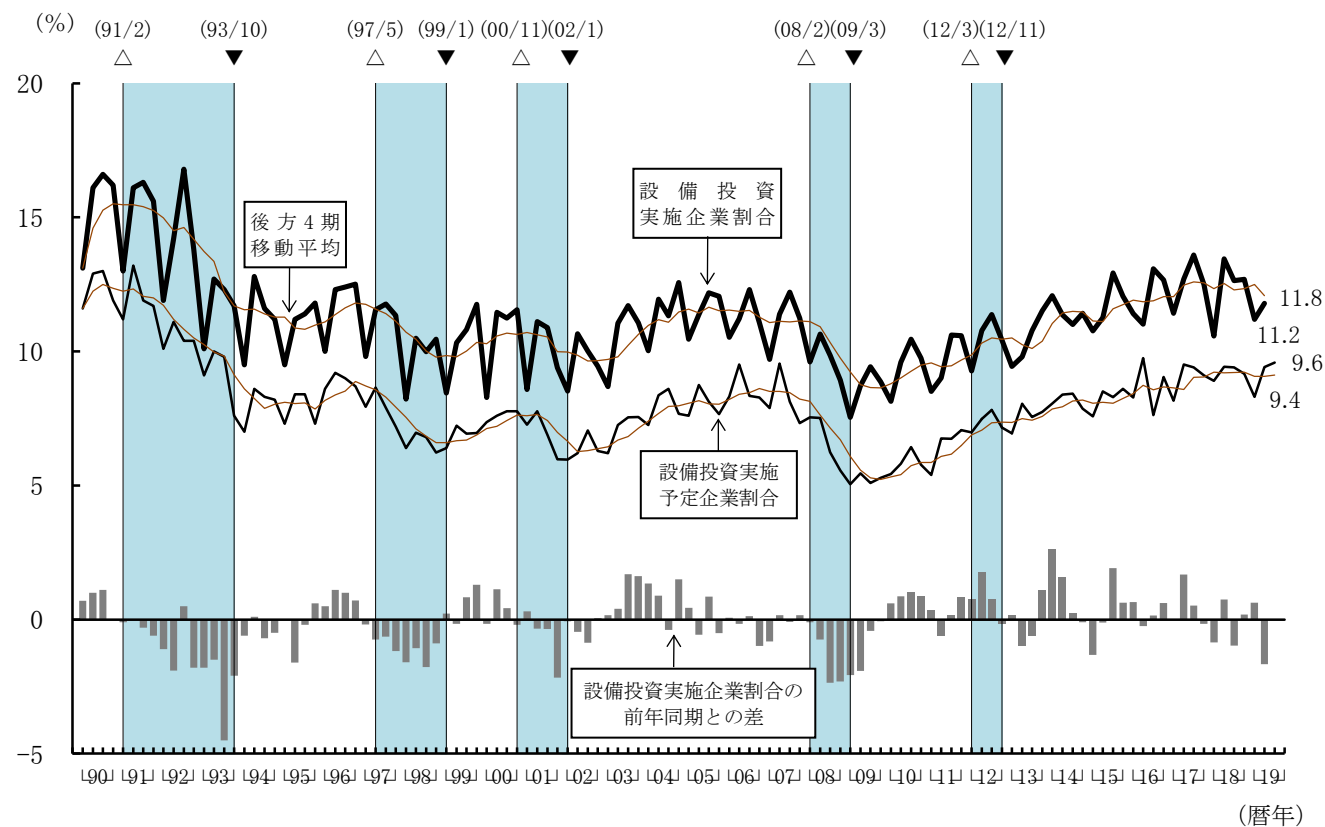


(注) 経営上の問題点（上位4項目）とは、当面の経営上の問題点について択一式で回答を求め、上位4位までを示したものの。

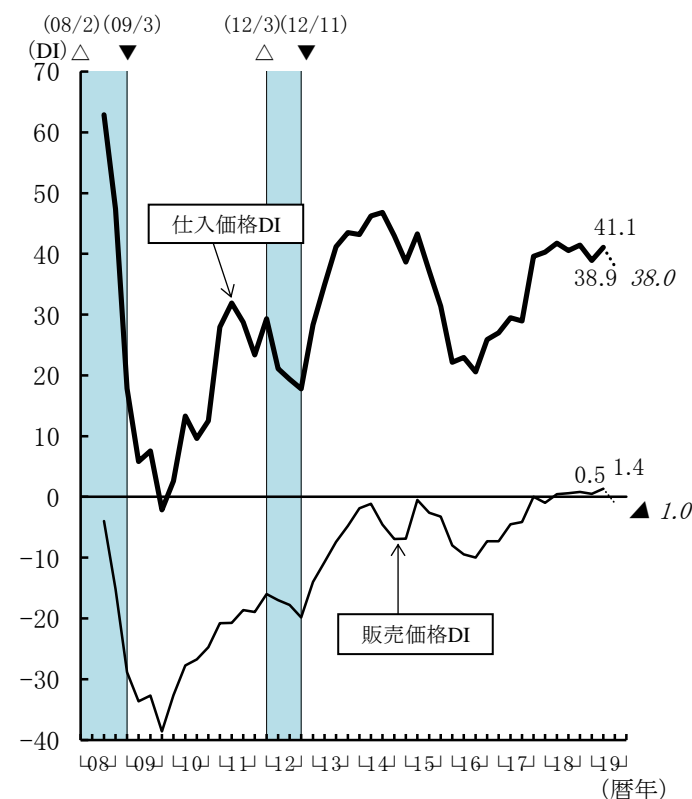
## 6 設備投資、価格動向

- 今期の設備投資実施企業割合（全業種計）は、前期から0.6ポイント上昇し、11.8%となった。
- 今期の販売価格DI（全業種計）は、0.9ポイント上昇し、1.4となった。来期は低下する見通しである。
- 今期の仕入価格DI（全業種計）は、2.2ポイント上昇し、41.1となった。来期は低下する見通しである。

図－8 設備投資実施企業、実施予定企業割合の推移（全業種計）



図－9 販売価格DI、仕入価格DIの推移（全業種計）



- (注) 1 DIは、前年同期比で「上昇」と回答した企業割合から「低下」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。  
 3 2008年7-9月期から調査を実施。



# 中 小 企 業 編

(2019年4－6月期実績、7－9月期および10－12月期見通し)

中小企業の景況は、弱い動きがみられるものの、  
緩やかに回復している

## [調査の実施要領]

調 査 時 点	2019年6月中旬
調 査 対 象	当公庫取引先（原則従業員20人以上） 13,819社
有 効 回 答 数	6,500 社 [回答率 47.0 %]

### <業種構成>

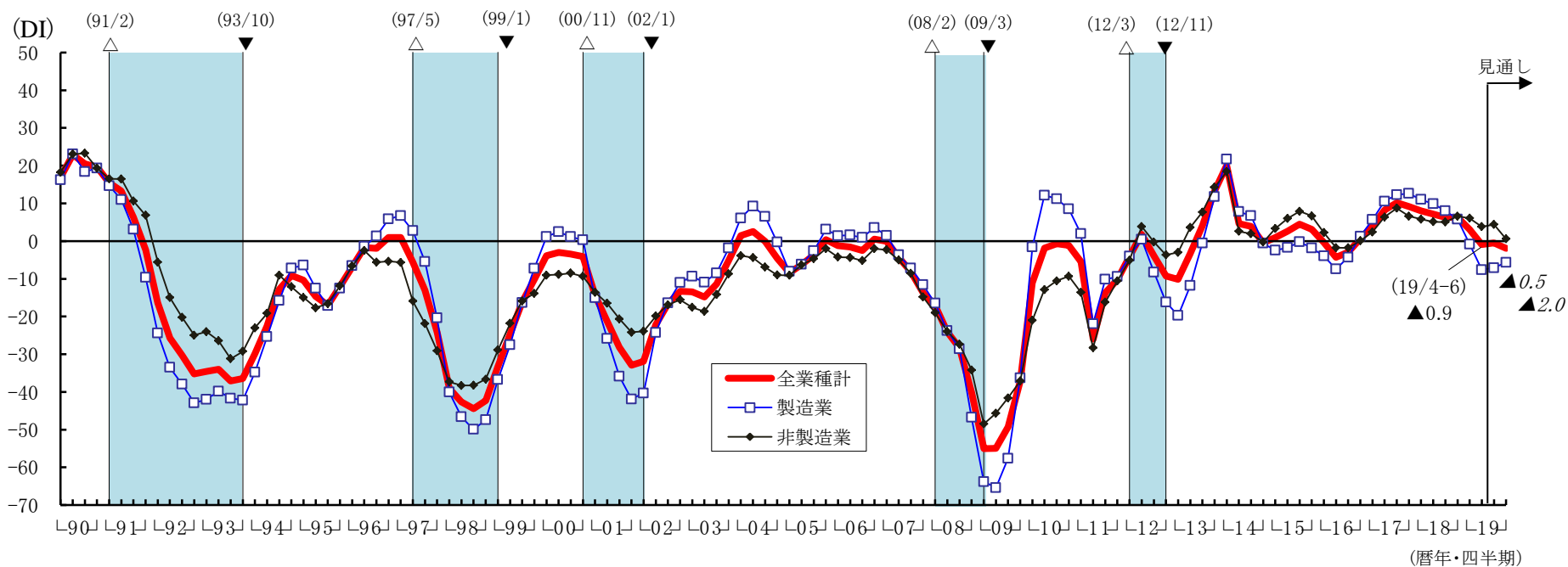
	調 査 対 象	有 効 回 答 数		
製 造 業	5,529 社	2,753 社	(構成比	42.4 %)
鉱 業	18 社	10 社	( 同	0.2 %)
建 設 業	1,134 社	571 社	( 同	8.8 %)
運送業(除水運)	823 社	406 社	( 同	6.2 %)
水 運 業	179 社	88 社	( 同	1.4 %)
倉 庫 業	69 社	40 社	( 同	0.6 %)
情 報 通 信 業	317 社	127 社	( 同	2.0 %)
ガ ス 供 給 業	15 社	7 社	( 同	0.1 %)
不 動 産 業	908 社	358 社	( 同	5.5 %)
宿泊・飲食サービス業	544 社	199 社	( 同	3.1 %)
卸 売 業	1,871 社	908 社	( 同	14.0 %)
小 売 業	1,007 社	429 社	( 同	6.6 %)
サ ー ビ ス 業	1,405 社	604 社	( 同	9.3 %)

# 1 業況判断

- 今期（2019年4－6月期）の業況判断DIは、前期（2019年1－3月期）から4.0ポイント低下し、▲0.9となった。
- 来期（2019年7－9月期）は▲0.5にマイナス幅が縮小し、来々期（2019年10－12月期）は▲2.0となる見通しである。

図－1 業況判断DIの推移（季節調整値）

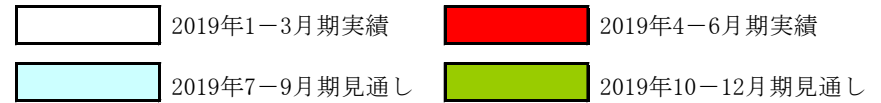
	2018/4-6	2018/7-9	2018/10-12	2019/1-3	2019/4-6 (前回見通し)	2019/7-9 (前回見通し)	2019/10-12
業況判断DI (季節調整値)	7.1	6.3	6.3	3.1	▲0.9 ( 3.0)	▲0.5 ( 3.8)	▲2.0
製 造 業	9.9	8.0	5.8	▲0.8	▲7.6 (▲1.1)	▲7.1 ( 0.7)	▲5.7
非 製 造 業	5.1	5.0	6.6	6.0	3.8 ( 6.3)	4.4 ( 6.4)	0.6



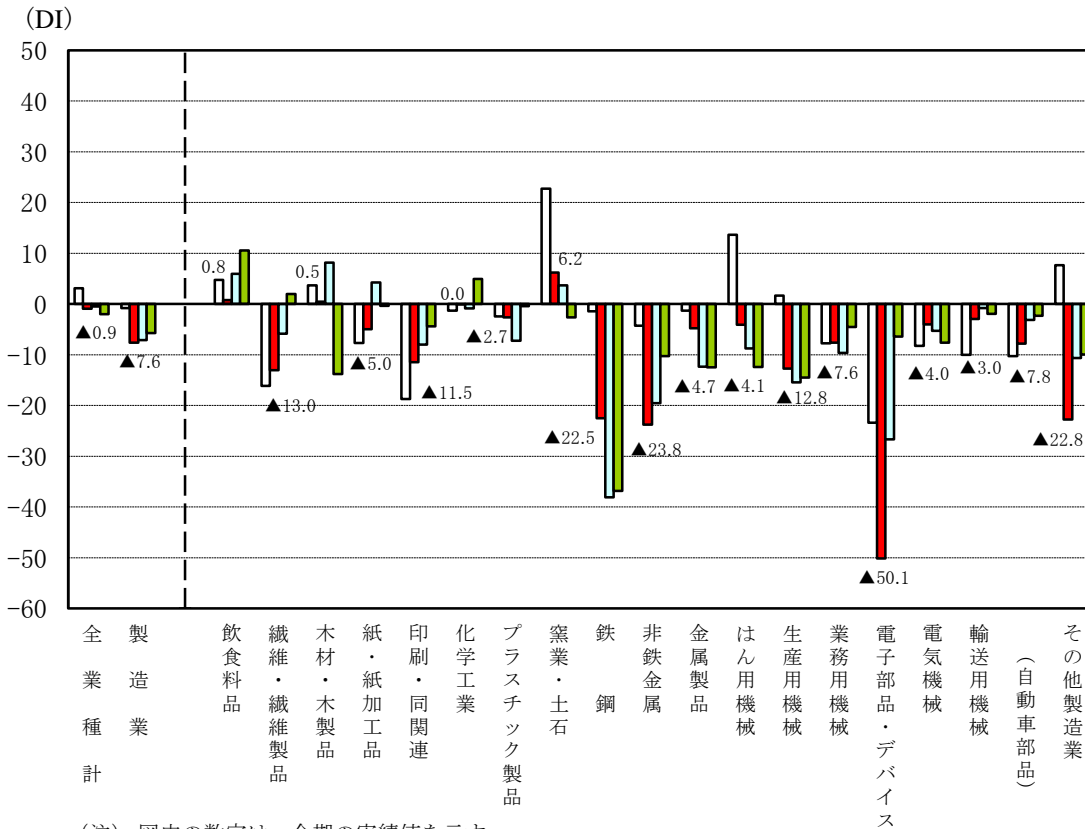
- (注) 1 業況判断DIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値（季節調整値）。  
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。  
 3 今期調査において季節調整値の改定を実施した（以下同じ）。

- 今期の業況判断DIを業種別にみると、製造業は、繊維・繊維製品、印刷・同関連、輸送用機械等が上昇した。一方、鉄鋼、はん用機械、生産用機械、電子部品・デバイス等は低下した。
- 非製造業は、建設業、情報通信業、卸売業、小売業等が低下した。

図－2 業種別業況判断DIの推移（季節調整値）

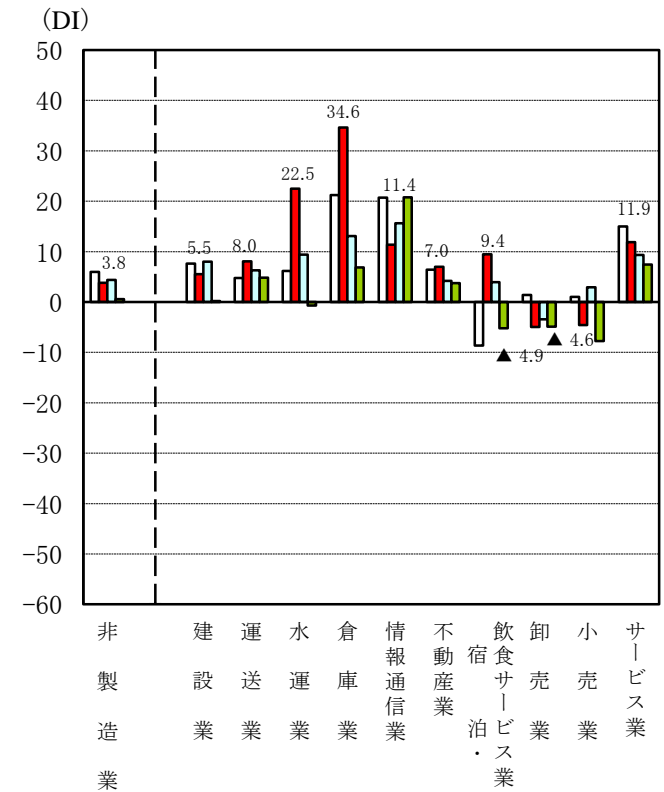


－製造業－



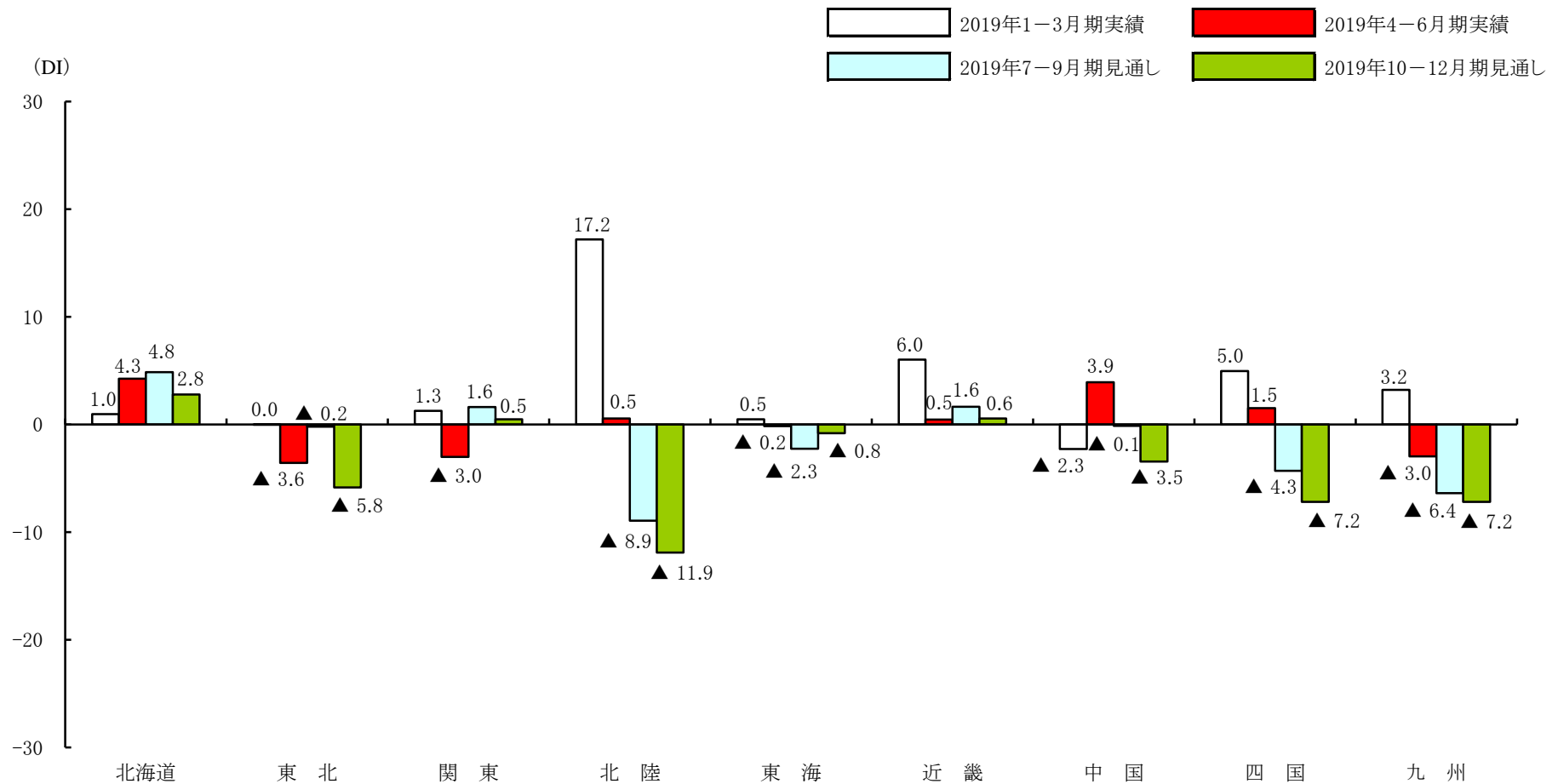
(注) 図中の数字は、今期の実績値を示す。

－非製造業－



- 業況判断DIを地域別にみると、今期は東北、関東、北陸、東海、近畿、四国、九州の7地域で低下した。
- 来期は北海道、東北、関東、近畿の4地域で上昇する見通しである。

図－3 地域別業況判断DI（季節調整値）

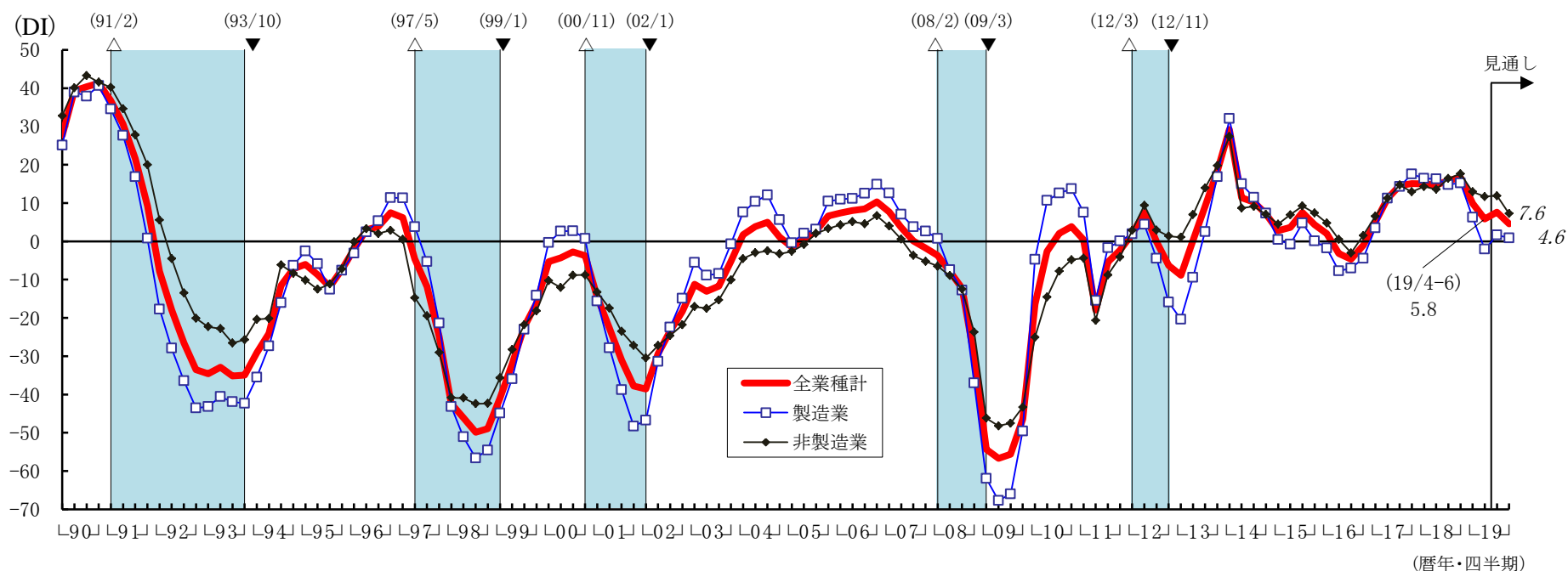


## 2 売 上

- 今期の売上DIは、前期から4.1ポイント低下し、5.8となった。
- 来期は7.6に上昇し、来々期は4.6となる見通しである。

図－4 売上DIの推移（季節調整値）

	2018/4-6	2018/7-9	2018/10-12	2019/1-3	2019/4-6 (前回見通し)	2019/7-9 (前回見通し)	2019/10-12
売上DI (季節調整値)	14.7	15.8	16.7	9.9	5.8 ( 11.3)	7.6 ( 13.3)	4.6
製 造 業	16.3	14.8	15.2	6.2	▲ 2.1 ( 7.1)	1.6 ( 10.5)	0.9
非 製 造 業	13.6	16.4	17.6	12.9	11.7 ( 14.5)	11.9 ( 15.5)	7.2



(注) 1 売上DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。

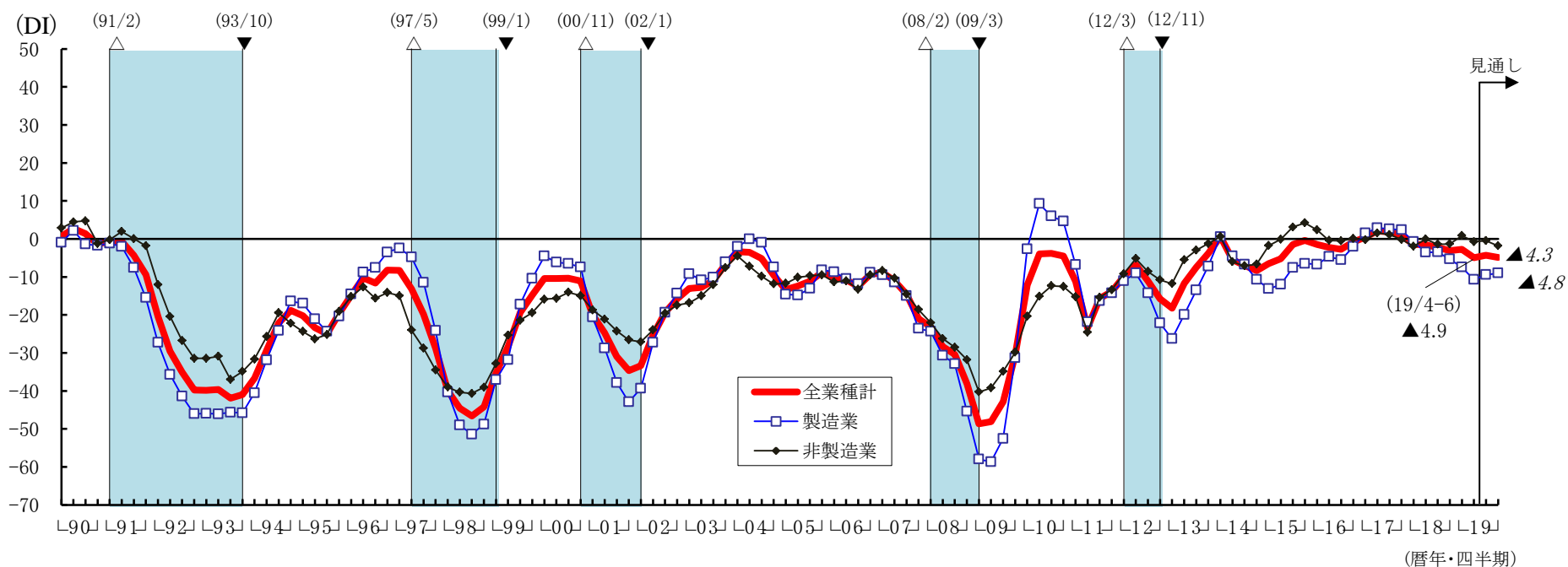
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

### 3 利益

- 今期の純益率DIは、前期からマイナス幅が2.2ポイント拡大し、▲4.9となった。
- 来期は▲4.3とマイナス幅が縮小し、来々期は▲4.8となる見通しである。

図－5 純益率DIの推移（季節調整値）

	2018/4-6	2018/7-9	2018/10-12	2019/1-3	2019/4-6 (前回見通し)	2019/7-9 (前回見通し)	2019/10-12
純益率DI (季節調整値)	▲ 1.5	▲ 2.3	▲ 3.1	▲ 2.7	▲ 4.9 (▲ 1.5)	▲ 4.3 (▲ 0.8)	▲ 4.8
製 造 業	▲ 3.5	▲ 3.5	▲ 5.3	▲ 7.4	▲ 10.7 (▲ 6.7)	▲ 9.4 (▲ 5.1)	▲ 9.0
非 製 造 業	▲ 0.1	▲ 1.4	▲ 1.3	0.9	▲ 0.7 ( 2.0)	▲ 0.5 ( 2.7)	▲ 1.8



(注) 1 純益率DIは、前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（季節調整値）。

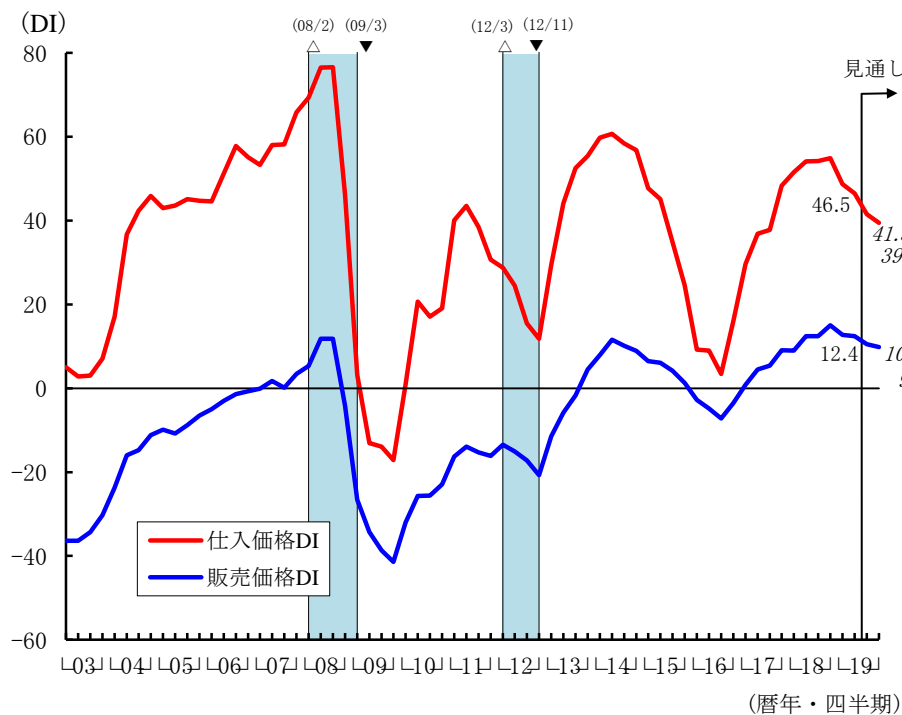
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

## 4 価格、金融関連

- 今期の販売価格DIは、前期から0.3ポイント低下し、12.4となった。仕入価格DIは前期から2.2ポイント低下し、46.5となった。来期は販売価格DI、仕入価格DIともに低下する見通しである。
- 今期の資金繰りDIは前期から低下した。長期借入難易DIは低下し、短期借入難易DIは横ばいとなった。

図－6 価格関連DIの推移（原数値）

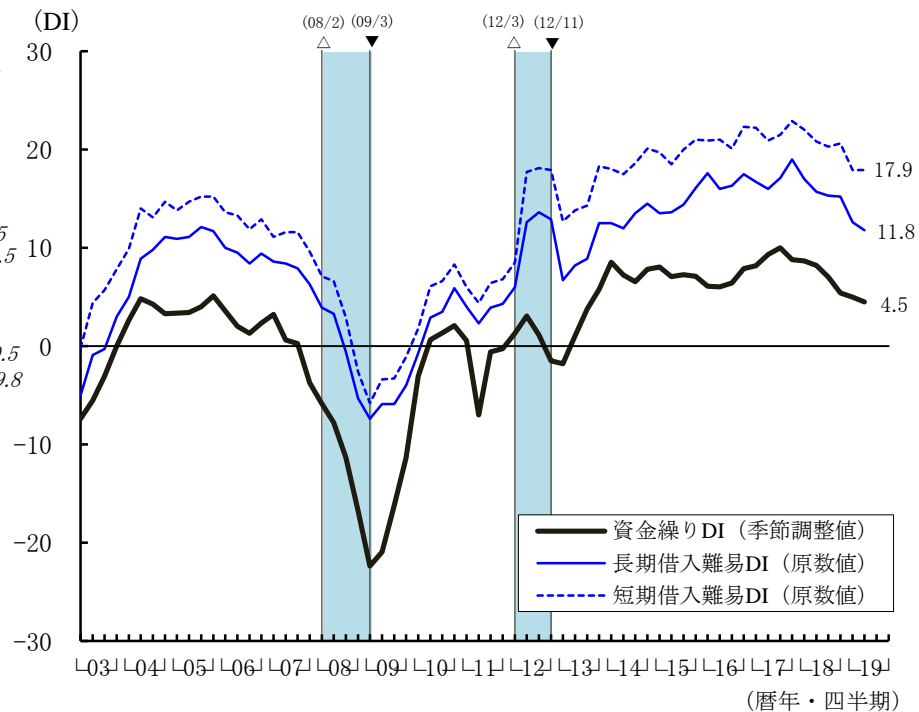
	2018/4-6	2018/7-9	2018/10-12	2019/1-3	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12
販売価格DI	12.4	12.4	15.0	12.7	12.4	10.5	9.8
仕入価格DI	54.1	54.2	54.9	48.7	46.5	41.5	39.5



- (注) 1 仕入価格DI、販売価格DIともに前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（原数値）。  
2 図中の数字は今期実績および見通し（斜体）の値を示す。

図－7 金融関連DIの推移

	2018/4-6	2018/7-9	2018/10-12	2019/1-3	2019/4-6
資金繰りDI（季節調整値）	8.2	7.0	5.4	5.0	4.5
長期借入難易DI（原数値）	15.7	15.3	15.2	12.6	11.8
短期借入難易DI（原数値）	20.8	20.3	20.6	17.9	17.9



- (注) 1 資金繰りDIは、前年同期比で「好転」企業割合－「悪化」企業割合（季節調整値）。  
2 借入難易DIは、前年同期比で「容易」企業割合－「困難」企業割合（原数値）。  
3 図中の数字は今期の実績値を示す。

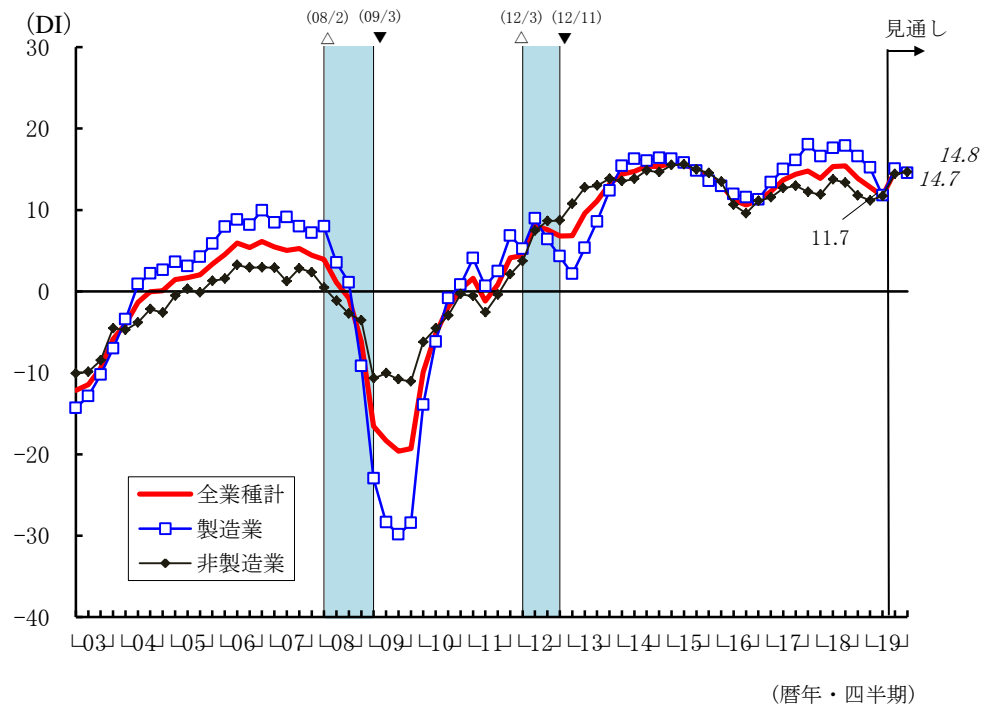


## 5 雇用、設備

- 今期の従業員DIは、前期から1.1ポイント低下し、11.7となった。来期は上昇する見通しである。
- 今期の設備投資実施企業割合は、前期から0.2ポイント上昇し、40.3%となった。

図－8 従業員DIの推移（季節調整値）

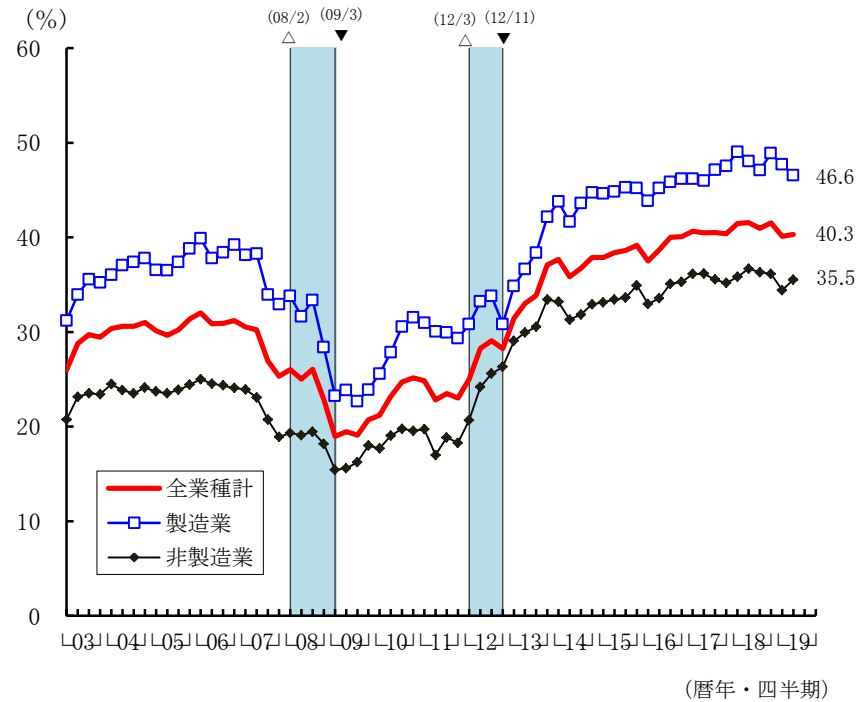
	2018/4-6	2018/7-9	2018/10-12	2019/1-3	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12
全業種計	15.3	15.4	13.9	12.8	11.7	14.7	14.8
製造業	17.6	17.9	16.6	15.2	11.8	15.0	14.5
非製造業	13.7	13.4	11.8	11.2	11.7	14.4	14.6



(注) 1 従業員DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。  
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

図－9 設備投資実施企業割合の推移（季節調整値）

	2018/4-6	2018/7-9	2018/10-12	2019/1-3	2019/4-6
全業種計	41.6	40.9	41.5	40.1	40.3
製造業	48.0	47.1	48.9	47.7	46.6
非製造業	36.7	36.3	36.2	34.4	35.5



(注) 図中の数字は今期の実績値を示す。

## 6 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点をみると、「売上・受注の停滞、減少」が31.7%と最も多く、次いで、「求人難」(30.3%)、「原材料高」(8.9%)となっている。
- 前回調査と比べると、「売上・受注の停滞、減少」は3.5ポイント上昇する一方、「求人難」は4.1ポイント低下した。

図-10 経営上の問題点の推移

